婦人服・子供服におけるウォッシュابل化の考え方*

溝呂木 忠 志**

資 料

1. はじめに

合繊メーカをはじめ、アパレルメーカにおいて展開しているウォッシュابل企画は、盛んになりつつあるが、当社においても約10年前より子供服で“ザバザバ”ブランドで市場展開を始めた。

合成繊維が展開されて以来、従来の天然繊維にない特長をもって衣料分野に進出し、安定基盤を築いたが、その大きな要因は、特にイージケア性が衣料に通じていたことである。

確かに合繊素材そのものがイージケア、丈夫さ等の衣料にマッチした特性で、消費者の衣生活に豊かさを与えてきた。衣服は生地素材に裏地、芯地、ボタン等の付属品を加え縫製され、着用されるものである。

ウォッシュابل企画は衣服を家庭で手軽に丸洗いし、商品価値が低下することなく着用できることを前提とした企画であり、素材から縫製までのトータルな企画である。

当社の子供服でのウォッシュابل企画のスタートも約10年前に、子供を持つ母親の意識調査を行った際に多数の母親から“家庭で手軽に洗える子供服があったら”というヒントから社内の営業部門、研究部門が集まり検討に入り、素材、付属類、縫製の各段階についてのウォッシュابل企画の基準作りを行った。

当時の子供服分野はブレザ、ジャンパ類が日常の通学服として着られており、毎日の洗濯が母親にとって大きな苦痛の種であったことから、ウォッシュابلの可能な商品展開は将来のある企画テーマといえた。

このウォッシュابل子供服のノウハウを基礎に4年前より婦人服、1昨年に紳士服の企画発展を行い、今日ではトータルなウォッシュابل商品として市場展開を行っており、消費者にブランド商品として高い評価を得てい

(婦人)

(子供)

図1 旭化成のウォッシュابل婦人・子供服製品例とそのラベル

*Planning of Machine Washable Garments for Women and Childrens.

**T. Mizorogi, 旭化成工業 営業推進総部 課長

るものとする。当社のウォッシュブル婦人服・子供服の製品例とそのラベルを図1に示す。

これらの商品企画に当たっての留意点はつぎのようになっている。

2. 素材（生地）評価

営業部門で本企画向けに開発した素材（生地）について下記のような多項目にわたる物性試験を行い、当社のウォッシュブル企画の基準に、合格した素材（生地）についての生産・販売することとしている。

2.1 一般物性

- 引裂強度（JIS L1079 C 法による）
- 破裂強度（JIS L1018 A 法による）
- 摩耗強度（JIS L1018 A 法（ユニフォーム型法）による）
- ピリング（JIS L1076 A 法, JIS L1076 C 法による）
- スナッグング
- フレイング（ICI 型ピリング テスタの中に金のこを入れるスナッグング試験法）
- 滑脱抵抗力（JIS L1079 B 法による）

2.2 耐洗濯性

- 洗濯収縮率（JIS L1042 G 法による）
- W&W性（JIS L1042 G 法による）
- 風合い変化（JIS L1042 G 法による）
- 外観変化（JIS L1042 G 法による）

2.3 縫製適性

- 熱収縮率（JIS L1042 H-2 法, JIS L1042 H-3 法による）
- 斜行変型（JIS L1042 H-3 法による）
- 芯地接着性
- 地糸切れ

2.4 染色堅牢度

- 耐光（JIS L0842 による）
- 洗濯（JIS L8044 A-2 法による）
- 汗（JIS L0848 A 法による）
- 摩擦（JIS L0849 による）
- 昇華（JIS L0854 による）
- ドライ クリーニング（JIS L0860 による）

3. 付属品の銘柄指定

裏地、芯地、ファスナ、インサイド ベルト、テープ芯、ミシン糸、手縫糸、刺しゅう糸、レース、カラークロス、バス芯、腰テープ、肩パット、パイピングテープ、グレード、袋布地等 洋服に必要なすべての付属品については品質的にウォッシュブル企画に適した銘柄を付属品として指定している。

4. 製品検査

4.1 縫製指導

縫製ノウハウについては参画メンバの縫製工場に対してのみ縫製指導を行う。

4.2 製品検査

A. サイズ検査

サイズ検査は下記の表1に従ってチェックする。

表1 当社ウォッシュブル製品のサイズ検査項目

部位	丈 け			幅			
	袖丈	着丈	背丈	H	W	B	肩幅
紳士	トップ	○	○			○	○
	ボトム			○	○		
婦人	トップ	○	○			○	○
	ボトム			○	○		
	ドレス	○	○	○	○	○	○
子供	トップ	○	○			○	○
	ボトム			○	○		
	ドレス	○	○	○	○	○	○

B. 外観・品質評価

- a. 全般的な外観、品質評価は下記の項目について行う。
 - i. 素材関係
 - (1)素材の きず、むら
 - (2)柄合せ、綾目接合不良
 - (3)逆毛、逆目
 - (4)裁断不良
 - ii. 縫製関係
 - (5)シーム パッカリング
 - (6)地糸切れ
 - (7)送り歯きず
 - (8)目飛び
 - (9)縫糸切れ
 - (11)縫目パンク
 - (11)縫継ぎ不良
 - (12)縫目曲がり
 - (13)縫目調子不良（‘よたれ’、‘わらい’）
 - (14)縫いはずれ
 - (15)ラダリング
 - (16)織糸ひけ
 - (17)いせ込み不良
 - (18)縫いしろの ごろつき
 - (19)スティッチ不良
 - (20)門止め不良
 - (21)ダーツの ‘えくぼ’

②2穴かがり不良

②3ファスナ付け不良

②4縫目の つれ

②5縫目の ねじれ

②6縫糸始末不良

②7タック, ギャザの不良

iii. プレス関係

②8芯地の はく離

②9樹脂のしみ出し

③0パッカリング, バブリング

③1モアレ

③2オレンジ ピア (接着芯地の接着剤の表
地表面への あたり)

③3変色

③4‘てり’, ‘あたり’

③5プレスしわ

③6折り目線の ねじれ

③7縫目割り不良

③8折り目セット不良

③9プリーツ不良

④0きわつき (しみ)

iv. 付属品関係

④1ボタン付け不良

④2スナップ付け不良

b. 部分的な外観・品質評価は下記の項目について
行う。

i. トップ ドレスの品質評価項目

(1)衿 形態, バランス, 縫い合せ, 衿つり
(2)肩 パットなじみ不良, ‘たれ綿’ なじみ不
良, 有線のパッカリング, 左右の不
均一

(3)袖 袖付け不良, ‘およぎ’

(4)袖裏 いせ不良, 左右不均一, 中とじ不良,
吹き出し

(5)ラベル ラベルの角出し不良

(6)身返し 波打ち, コックリング, 身返し, 前身
比翼のはみ出し, ラベルの返り不良

(7)前身頃 ‘およぎ’, 中とじ不良, 波うち, 前裾の
外そり, 前身身返しのたるみ, ダーツ
不良, ネーム付け不良

(8)後身頃 背のつきじわ, ベンツの波打ち, つ
れ, はね, 衿みつのつれ, 背裏の き
せ量

(9)裾 裾縁の不均一, 裾ヘム部の びりつき,
裾裏の きせ量

⑩ポケット 左右不均一, フラップ裏ひかえ, 玉
縁のコックリング, ポケット裏のひかえ

ii. ボトムの場合

(1)前立て 前立ての かぶり, 前立裏の はみ出し
(2)ベルト部 “マーベルト” 部の つれ, とめ不
良, ベルトの波打ち, ループの うき量

(3)尻, 小股 十字縫いの ずれ

(4)スラックス 左右の ‘あるき’

(5)スカート セツパ付不良, 裾すくい不良, 裾
ヘムのびりつき, 裾はね, プリーツの
ゆがみ

iii. ドレスのみの品質評価項目

(1)ウエスト 中とじ不良

(2)脇 脇部中とじ不良

(3)耐洗濯性評価

(4)パッカリング

(5)収縮率

(6)W & W性

(7)縫目の破損 ほつれ

(8)縫いしろの ほつれ

(9)芯地の はく離, 樹脂の はみ出し

(10)色落ち, 汚染

(11)プリーツ保持性, ゆがみ

(12)形くずれ

(13)副素材の収縮, 変色, 破損, さび等

5. おわりに

上記のように本企画の重要なポイントは最終製品の検
査である。約20回の繰返し洗濯試験を行い, 生地, 付属
品, 縫製の各段階で基準通りに商品化されているかをチ
ェックする。

このため各シーズン初めに, 必ず参画アパレル メー
カからサンプルの提出を義務付けており, 検査結果をア
パレル メーカーに通知し, 改善の必要ある場合は縫製工
場に改善要求を指示する。またシーズン中に市場から商
品を買い集め, サンプル同様の検査を行い, 常に規格外
の商品が消費者に渡らないよう品質面の維持に工夫を払
っている。

第1次オイル ショック以後, 繊維業界も低迷を続け
ている。一方, 消費者のライフ スタイルも大きく変わ
りつつある。

年々強まる物価高, インフレ傾向の中で防衛的生活を
強いられており, 特に衣服に関しては, 逐年被服費の支出
が低下し, 消費者のきびしい選択が行われるようになって
いる。

このような環境の中で, 素材メーカーとしてはいかに消
費者に対して適確な商品の提供を行うかが重要な課題で
あり, 消費者のライフ スタイルを常に捉え, 消費者の

旭化成のとらえている日本の消費者の
求める衣料に対するポイント

図2 消費者の求める衣料のポイント
(旭化成ライフスタイル分析調査より)

新刊紹介

衣服学用語集

原題を「Clothing Terms and Definitions」と称する衣服・縫製用語集が、英国の衣服学会 (The Clothing and Footwear Institute) から刊行されている。最近では、ファッションの時代を反映してか、数多くの服飾辞典が出回っている。そんななかにあつて、本書は純粋な縫製用語に限定して、約400種類の用語を定義した、珍しい貴重な学術用語集である。

本書の歴史は古く、すでに1963年から計画され、1970年に初版が出版された。その後1978年になって、現在の増補改訂版が出ている。改訂版では、主として縫製機械や装置に関する用語が重点的に増補された。ちなみに、「ミシンの部品 (sewing machine parts)」という項を見ると、37種類もの部品名が収録されている。ただ残念なことには、英-英辞典なので、対応する日本語がすぐに分らない場合もある。しかし、縫製に関する知識のある人が、用語についている定義をていねいに読めば、用語の意味のおよその見当はつくであろう。聞くとところによると、本書の翻訳が一部で計画されているとのことである。もし幸いに、これが実現すれば、きわめて利用価値の高い文献となろう。

体裁はA5たて長変形版で40ページ。価格は£1.45。